

注3

大学番号：私583

[平成21年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

南九州大学 環境園芸学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 南九州学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ガクムフチョウ ナカムラ ミノル  
学務部長 中村 稔

電話番号 0985-83-3448

（夜間） 090-4349-6114

F A X 0985-83-3383

e-mail nakamura@nankyudai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1. 調査大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況, 経費
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況
6. 留意事項に対する履行状況等
7. その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 南九州学園

## (2) 大学名

南九州大学

## (3) 大学の位置

〒885-0035 (〒880-0032)

宮崎県都城市立野町3764番地 1 (宮崎県宮崎市霧島五丁目 1 番地 2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を ( ) 書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	( シブヤ ヨシオ ) 澁谷 義夫 (平成9年4月)	( ハセガワ ジロウ ) 長谷川 二郎 (平成21年4月)	理事互選による 平成21年4月1日 (21)
学長	( シブヤ ヨシオ ) 澁谷 義夫 (平成9年4月)	( ハセガワ ジロウ ) 長谷川 二郎 (平成21年4月)	任期満了による 平成21年4月1日 (21)
学部長	( ヤマガチ マサアツ ) 山口 雅篤 (平成21年4月)		
学科長等	( ヤマガチ マサアツ ) 山口 雅篤 (平成21年4月)	(カワノブ シュウジ) 川信 修治 (平成23年4月)	人事異動による 平成23年4月1日 (23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( ) 書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学部学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
環境園芸学部 環境園芸学科 学士(農学)	4年	130人	年次 人	520人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( 0 ) [ 0 ]	130人 ( 0 ) [ 0 ]	0人 ( 0 ) [ 0 ]	130人 ( 0 ) [ 0 ]	0人 ( 0 ) [ 0 ]	130人 ( 4 ) [ 0 ]	0人 ( 0 ) [ 0 ]	0.84倍	
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( 0 ) [ 0 ]	162 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	172 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	146 ( 4 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]		
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( 0 ) [ 0 ]	160 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	170 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	146 ( 4 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]		
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( 0 ) [ 0 ]	159 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	168 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	146 ( 4 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]		
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( 0 ) [ 0 ]	109 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	112 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	110 ( 4 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]		
入学定員超過率 B/A			0.84		0.86		0.84			

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ 0 ] 110	[ 0 ] 0	[ 0 ] 112	[ 0 ] 0	[ 0 ] 110	[ 0 ] 0	
2年次	/		[ 0 ] 0	[ 0 ] 0	[ 0 ] 110	[ 0 ] 0	[ 0 ] 108	[ 0 ] 0	
3年次			/		/		[ 0 ] 0	[ 0 ] 0	[ 0 ] 111
4年次	/						/		/
計			[ - ] -	[ 0 ] 110	[ 0 ] 222	[ 0 ] 329			

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等「該当なし」

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
○○研究科 ○○専攻(○○課程)  修士(○○) 又は 博士(○○)	年	人	人	基礎となる学部等

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 ( ) [ ]	倍						
志願者数	( ) [ ]							
受験者数	( ) [ ]							
合格者数	( ) [ ]							
B 入学者数	( ) [ ]							
入学定員超過率 B/A								

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	
計	[ ]		[ ]		[ ]		

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	0%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 110人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 0 ]	3.7%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 107人	
	うち平成22年度入学者 4人	うち平成22年度 108人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 2人 ・除籍 3人 ・その他 3人 ※平成20年度入学者は転学科生である。		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(例)

平成20年4月に開設した学部で入学定員100名として、

- ・平成20年度は100名(うち、留学生10名)が入学し、5名(うち、留学生3名)が退学。
- ・平成21年度は100名(うち、留学生10名)が入学し、平成20年度入学者の2名(留学生はなし)と、平成21年度入学者の3名(留学生はなし)が退学。
- ・平成22年度は100名(うち、留学生10名)が入学し、平成20年度入学者の1名(うち、留学生1名)と平成21年度入学者の2名(うち、留学生1名)が退学。

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ 3 ]	(累積)計 [ 10 ]	5.0%
	うち平成20年度入学者 5人	うち平成20年度 100人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 2人 ・家庭の事情 3人		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ 0 ]	(累積)計 [ 20 ]	2.6%
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 95人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 100人	
(主な退学理由) ・就学意欲の低下 1人 ・海外留学 2人 ・学生個人の心身に関する事情 2人		前年度までの退学者数を、 前年度の在学者数から減 らした人数を記入してく	
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 2 ]	(累積)計 [ 30 ]	1.0%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 93人	
	うち平成21年度入学者 2人	うち平成21年度 97人	
(主な退学理由) ・学力不足 1人 ・就職 1人 ・その他(本学他学科への転学) 1人			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間と文化	フレッシュマンアワー	1前	1									
	言葉と文章	1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		1前										
	心理学概論	1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		1前										
	哲学	1前										教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)
		1後										
		1前		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	倫理学	1前										教育効果に配慮し、配当年次を変更(23)
		1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(23)
	宗教学	1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		2前										
美術史	1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
1前												
生活と制度	歴史と現代	1前		2								
	歴史と社会	1後		2								
	日本国憲法	1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
	社会学	2前		2								
	経済学	1後		2								
科学と現代	生物学の基礎	1前		2		1						兼任教員の都合により、専任教員に変更(21) 担当 山口雅篤(教授)
	生物の世界	1後		2		1						兼任教員の都合により、専任教員に変更(22) 担当 山口雅篤(教授)
	化学の基礎	1前		2								
	化学の世界	1後		2								
	物理学の基礎	1前		2								
	物理の世界	1後		2								
	地学の基礎	1前		2								
	地学の世界	1後		2								
	統計学	1後		2								
	数学	1後		2								
	情報処理論 I	1前・後		2								
情報処理論 II	2前・後		2									
外国語	英語コミュニケーション I	1前		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		2前		4								
	1後		2									教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
英語コミュニケーション II	2後		4									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	保健講義	1後		2									
	体育実技	1通		2									
専門基礎科目	環境園芸概論	1前	2			6	1					教育効果に配慮し、専任教員を追加(21) 担当 渡辺昭治(教授), 杉本和宏(教授), 平岡直樹(教授), 徳原隆(准教授)	
	環境園芸実験実習 I	1前	2			2	1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(23)	
	環境園芸実験実習 II	1後	2				3						
	環境科学	1後	2									教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)	
	生命科学	1後	2			1							
	植物資源科学	1後	2			1							
	技術者倫理	1後	2										
	専門必修科目	専攻演習 I	3後	2			12	9	3				専任教員追加及び職位変更(22)
		専攻演習 II	4前	2			12	9	3				
		専攻演習 III	4後	2			12	9	3				
		卒業論文	4通	6			12	9	3				
	専門教育科目	植物学	1前		2		1						職位変更(22)
		環境気象学	1前		2								
		微生物学	1前		2		1	4					教育効果に配慮し、配当年次を変更及び専任教員を追加(22) 担当 日高英二(准教授)
			1前						1				教育効果に配慮し、配当年次を変更(21)
		樹木学	1後		2								教育効果に配慮し、配当年次を変更(23)
		植物生理学	1前		2		1						
		土壌学	1後		2			1	4				職位変更(22)
		造形デザイン演習	1後		2		1						教育効果に配慮し、専任教員を追加(22) 担当 永松義博(教授)
作物栽培学		1後		2		1							
博物館学概論		1後		2		1							
学外研修(環境園芸)		2前		2		1	1					他学部科目との区別のため、科目名を変更(21)	
アグリビジネス論		2前		2									
遺伝育種学概論		2前		2		1							
園芸生産環境専門実習		2前		2		2	2	1					
ガーデニング概論		2前		2			1						
花卉園芸総論		2前		2			1						
果樹園芸総論		2前		2									
環境アセスメント論		2前		2									
環境保全型農業論		2前		2		1							
環境緑地論		2前		2		1							
基礎製図実習	2前		2			1	4				職位変更(22)		
グリーンツーリズム論	2前		2		1								
昆虫学	2前		2			1							
細胞工学	2前		2		1								
	2後												
自然環境実習	2前		2			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)		
植物生態学	2前		2										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	植物病理学	2前		2		1	+					職位変更 (22)
	生物化学	2前		2		1						
	造園植栽論	2前		2			1					
	測量学 I	2前		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)
	測量学実習 I	2前		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)
	蔬菜園芸総論	2前		2			1					
	地産地消論	2前		2		1						
	農産物流通原論	2前		2		1	+					職位変更 (22)
	ピオトープ論	2前		2			1					
	フラワー実習	2前		2			1		1			
	遺伝子工学	2後		2		1	+					職位変更 (22)
	園芸生産環境実験	2後		2		2	2		1			
	造園ガーデニング実習											教育効果に配慮し、科目名称を変更 (23)
	ガーデニング実習	2後		2			1		1			
	花卉園芸各論	2後		2			1					
	花卉専門実習	2後		2			1					
	果樹園芸各論	2後		2								
	環境哲学	2後		2			1		+			職位変更 (22)
	環境農業経営論	2後		2		1						
	環境保全園芸論	2後		2		1						
	環境保全専門実習	2後		2		1	1		1			
	コンピュータ演習	2後		2			2					
	細胞・分子生物学実験	2後		2		1						
	作物学各論 I	2後		2		1						
	作物専門実習	2後		2		1						
	自然緑地計画論	2後		2		1						
	自然緑地計画論演習	2後		2		1						
	樹木医学	2後		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)
			2後									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)
			3前									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (21)
	植物バイオテクノロジー	2後		2		1						
			3前									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)
	植物バイオテクノロジー実験	2後		2		1						
			2前									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (23)
植物分類学	2後		2									
森林政策学	2後		2	1								
世界の庭園と歴史	2後		2	1	1						教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22)	
造園材料施設論	2後		2		1							
造園緑地実験 I	2後		2		1							
		3後									教育効果に配慮し、配当年次を変更 (22)	
総合防除論	2後		2		1	2						
測量学 II	2後		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)	
測量学実習 II	2後		2			1					教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22) 担当 日高英二 (准教授)	
蔬菜・果樹専門実習	2後		2		1							
蔬菜園芸各論	2後		2		1							
		2前									教育効果に配慮し、配当年次を変更 及び専任教員を追加 (22)	
庭園学	2後		2		1	+					担当 永松義博 (教授)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	庭園学演習	2前 2後		4			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更及び専任教員を追加(22) 担当 永松義博(教授)
	動物生態学	3前 2後		2			1					教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)
	土壌学各論	3前 2後		2			1	1				教育効果に配慮し、配当年次を変更及び職位変更(22)
	農業協同組合論	2後		2								
	農産物流通論	2後		2			1	1				職位変更(22)
	水辺環境論	2後		2			1					
	博物館学各論	2通		4								
専門教育科目 専門選択科目	教育学概論	2後		2								
	遺伝子工学実験	3前		2		1	1					職位変更(22)
	園芸療法実習	3前		2				1				
	園芸療法論	3前		2					1			
	ガーデニング植物材料論	3前		2		1	1					教育効果に配慮し、専任教員を追加(22) 担当 永松義博(教授)
	環境関連法	3前		2					1			
	環境教育実習	3前		2								
	環境植物論	3前		2								
	環境調査及び再生論	3前		2		1						
	景観論	3前		2		1						
	コンピュータ・CAD演習	3前		2			1	1				職位変更(22)
	作物学各論Ⅱ	3前		2		1						
	敷地計画論	3前		2			1					
	敷地計画論演習	3前		4			1					
	自然体験実習	3前		2								
	種苗生産学	3前		2			1					
	植物育種学Ⅰ	3前		2		1						
	植物生殖・発生学	3前		2		1						
	造園管理学	3前		2			1					
	造園施工実習	3前		2		1						
	造園緑地実験Ⅱ	3前		2			1					
	造園ガーデニング実習Ⅱ											教育効果に配慮し、科目名称を変更(23)
	造園緑地実習	3前		2		1	2	1				職位変更及び専任教員追加(22) 担当 平岡直樹(教授)、竹内真一(准教授)
	地域計画論	3前 2後		2			1					
	動物分類学	3前		2				1				教育効果に配慮し、配当年次を変更(22)
	熱帯植物論	3前		2								
	農業機械学	3前		2								
	農産物貿易論	3前		2			1	1				職位変更(22)
	農村調査実習	3前		2			1	1				
	肥料学	3後 3前		2				1	1			教育効果に配慮し、配当年次を変更及び職位変更(22)
	分子育種学	3前		2			1					
	保全生物学	3前		2								
水辺環境論実習	3前		2	1								
緑化学	3前		2			1						
農業史	3前		2	1								
生涯学習概論	3前		1									
アジア農産物貿易論	3後		2			1	1				職位変更(22)	
インターンシップ	3通		2			1	1					
園芸利用学	3後		2			1						
ガーデニング特別実習	3後		2				1	1			教育効果に配慮し、担当を変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	環境緑地論実習	3後		2		1						
	建築学概論	3後		2			1		+			職位変更 (22)
	国外研修	3通		2			2		2			職位変更 (22)
	施設園芸学	3後		2			1					
	植物育種学Ⅱ	3後		4		1						
	生体成分分析実験	3後		2		1						
	生物統計学	3後		2		1						
	造園管理学実習	3後		2			1					
	動物生理学	3後		2			1					
	都市計画論	3後		2		1						
	都市緑地論	3後		2			1					
	都市緑地論演習	3通		4			1					
	農業機械実習	3後		4								教育効果に配慮し、単位数を変更(22)
	農業法人論	3後		2	1							教育効果に配慮し、配当年次を変更(23)
	農薬科学	3後		2	1							職位変更 (22)
	ハーブ園芸論	3後		2		1			+			
	微生物利用学	3後		2		1			+			
	盆栽論	3後		2								
	応用数学	3通		4								
	博物館実習	3通		3		1						教育効果に配慮し、専任教員を追加(22) 担当 澁谷義夫(教授)
	視聴覚メディア論	3後		1								
	科学英語	3後		2		1						

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

## (2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	160	0	172	12	160	0	172	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	フィールドセンターを 整備			
	校舎敷地	40,796㎡	0㎡	0㎡	40,796㎡				
	運動場用地	18,140㎡	0㎡	0㎡	18,140㎡				
	小 計	58,936㎡	0㎡	0㎡	58,936㎡				
	そ の 他	35,066㎡ 7,186㎡	0㎡	0㎡	35,066㎡ 7,186㎡				
	合 計	94,002㎡ 66,122㎡	㎡	㎡	94,002㎡ 66,122㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		19,064.05㎡ ( 19,064.05㎡ )	0㎡ ( 0㎡ )	0㎡ ( 0㎡ )	19,064.05㎡ ( 19,064.05㎡ )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	1 2 室	3 1 室	4 0 室	2 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		環境園芸学部 環境園芸学科		22 室		届出学部全体			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				点	点
	環境園芸学部	( 121,361 [18,828] )	( 232 [ 54 ] )	( 1 [ 1 ] )	( 980 )	( 4,367 )	( 0 )		
	計	( 121,361 [18,828] )	( 232 [ 54 ] )	( 1 [ 1 ] )	( 980 )	( 4,367 )	( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,246.00㎡		189席		114,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,616.50㎡		グラウンド1面		テニスコート2面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度の図書購入費は人間発達学部と共用の予定であったが、開設が1年遅れたため修正(22)
		教員1人当り研究費等	513千円	513千円	図書購入費	3,000 35,000千円	35,000 3,000千円	3,000千円	
		共同研究費等	1,064千円	3,541千円	設備購入費	100,000千円	25,000千円	25,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,300千円	1,068千円	1,070千円	1,080千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経費補助金、資産運用収益、雑収入 等							

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	南九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
園芸学部 園芸学科	4	—	—	—	学士（農学）		昭和42年度	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋11609	平成21年度より学生募集停止
環境造園学部 造園学科	4	—	—	—	学士（農学）		平成14年度	宮崎県児湯郡高鍋町大字南高鍋11609	平成21年度より学生募集停止（造園学科，地域環境学科）
地域環境学科	4	—	—	—	学士（農学）		平成14年度		
健康栄養学部 管理栄養学科	4	60	—	240	学士（栄養学）	0.90 1.09	平成15年度	宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2	
食品健康学科	4	40	—	160	学士（食品学）	0.72	平成15年度		
人間発達学部 子ども教育学科	4	80	—	320	学士（教育学）	0.60 0.60	平成22年度	宮崎県都城市立野町3764番地1	
大学の名称	南九州短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際教養学科	2	125	—	250	短期大学士（国際教養）	1.12	平成15年度	宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 担当教員表 (共通)

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
兼任	教授	長谷川 二郎 (61)	平成21年4月	生物学の基礎	専任	教授	山口 雅篤 (56)	平成21年4月	生物学の基礎	担当辞退(21)
				生物の世界	専任	教授	山口 雅篤 (58)	平成21年4月	生物の世界	担当辞退(22)
				環境科学	兼任	講師	山下 實 (74)	平成21年4月	環境科学	担当辞退(22)
				博物館実習	専任	教授	北村 泰一 (56)	平成23年4月	博物館実習	教育効果に配慮し、担当者を変更(23)
				植物分類学 環境植物論	専任	教授	澁谷 義夫 (66)	平成21年4月	博物館実習	担当辞退(22)
兼任	准教授	山里 哲史 (46)	平成21年4月	保健講義	兼任	講師	武野 さく子 (61)	平成21年10月	保健講義	就任辞退(22)
				体育実技	兼任	教授	西村 盛正 (60)	平成21年4月	体育実技	平成21年度開設予定の学部が開設できなかったため未就任(21)
兼任	講師	平野 順也 (35)	平成22年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	スモールブライツ (39)	平成21年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	平成21年度開設予定の学部が開設できなかったため未就任(21)
兼任	講師	長谷川 武夫 (69)	平成21年4月	物理学の基礎 物理の世界	兼任	講師	若生 潤一 (37)	平成21年4月	物理学の基礎 物理の世界	就任辞退(21)
兼任	講師	大賀 郁夫 (48)	平成21年4月	歴史と現代 歴史と社会	兼任	講師	田村 理恵 (40)	平成21年4月	歴史と現代 歴史と社会	就任辞退(21)
兼任	講師	中林 健一 (48)	平成21年4月	化学の基礎 化学の世界	兼任	講師	國府 俊則 (61)	平成21年4月	化学の基礎 化学の世界	就任辞退(21)
兼任	講師	金 湛 (36)	平成21年4月	統計学 情報処理論Ⅰ 情報処理論Ⅱ	兼任	講師	古藤 総一郎 (49)	平成21年4月	情報処理論Ⅰ 情報処理論Ⅱ	担当辞退(21)
兼任	講師	佐保 忠智 (62)	平成21年4月	社会学	兼任	講師	林田 康子 (52)	平成21年10月	社会学	就任辞退(22)

### (1) 担当教員表

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
専任	准教授	徳原 隆 (60)	平成21年4月	環境園芸実験実習Ⅱ	兼任	講師	金井 良一 (59)	平成23年10月	ガーデニング特別実習	教育効果に配慮し、担当者を変更(22)
				ガーデニング実習	兼任	講師	吉田 晋弥 (60)	平成23年10月	ガーデニング特別実習	
				ガーデニング概論	兼任	講師	横山 浩二 (49)	平成23年10月	ガーデニング特別実習	
				造園材料施設論 造園管理学 造園管理実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文						

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	立澤 文見 (41)	平成21年4月	ハーブ園芸論 フラワー実習 ガーデニング植物材料論 ガーデニング実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	専	講師	林 典生 (35)	平成21年4月	ハーブ園芸論 ガーデニング 植物材料論	平成21年3月 立澤文見准教授昇任のため 平成22年度より担当者の変更 (21) 「フラワー実習」「ガーデニング実習」「ガーデニング特別実習」は他に担当教員が2名いるため、支障はない。
専	講師	林 典生 (35)	平成21年4月	ガーデニング実習 園芸療法実習 園芸療法論 フラワー実習 ガーデニング特別実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	兼任	講師	金井 良一 (59)	平成23年10月	ガーデニング特別実習	
					兼任	講師	吉田 晋弥 (60)	平成23年10月	ガーデニング特別実習	
					兼任	講師	横山 浩二 (49)	平成23年10月	ガーデニング特別実習	
専	講師	柳 由貴子 (34)	平成21年4月	土壌学 土壌学各論 肥科学 環境保全専門実習 園芸生産環境実験 園芸生産環境専門実習 国外研修 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文		准教授				平成21年4月から准教授へと職位変更 (21)
専	准教授	姜 景求 (47)	平成21年4月	環境園芸実験実習Ⅱ 農産物流通原論 農産物流通論 農産物貿易論 アジア農産物貿易論 農村調査実習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文		教授				平成22年4月から教授へと職位変更 (22)
専	准教授	菅野 善明 (44)	平成21年4月	樹木医学 微生物学 植物病理学 遺伝子工学 遺伝子工学実験 微生物利用学 総合防除論 コンピュータ演習 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文	専任	准教授	日高 英二 (46)	平成22年4月	樹木医学	教育効果に配慮し、専任教員を追加 (22)
						教授				平成22年4月から教授へと職位変更 (22)



届出時の計画					変更状況					
専	講師	林 典生 (35)	平成21年4月	ガーデニング植物材料論	専	教授	永松 義博 (59)	平成22年4月	ガーデニング植物材料論	教育効果に配慮し、専任教員を追加(22)
専	准教授	川信 修治 (56)	平成21年4月	環境園芸実験実習Ⅰ 野菜園芸総論 コンピュータ演習 野菜・果樹専門実習 野菜園芸各論 施設園芸学 園芸生産環境実験 園芸生産環境専門実習 学外研修 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業論文		教授				平成23年4月から教授へと職位変更(23)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	9	3		21		14	7	1		22		
( 9 )	( 9 )	( 3 )	( )	( 21 )	( )	[ +5 ]	[ Δ2 ]	[ Δ2 ]	[ ]	[ +1 ]	[ ]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	立澤 文見	他大学への就任
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学部設置届け出後の専任教員交代は望ましくないと思慮されるが、本人の意向を尊重した結果の措置である。担当科目については教育に支障のないよう対処する。  
学生へは前期開講前のオリエンテーションで周知した。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況「該当なし」

<〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成20年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成22年4月	国際経済学	平成22年3月 〇〇〇〇教授昇任のため 平成22年度より担当者の 変更(22)  平成22年7月 担当者の変更(23)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成22年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成22年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成21年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成22年10月	金 融 論			後任未定			平成22年10月 □□□□准教授就任辞退(23) 「後任未定」平成23年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成23年4月	〇〇〇〇論	平成23年4月から 教育課程の充実を図るた め、科目を追加(23)

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
( )	( )	( )	( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(3) 専任教員辞任等の理由「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	健康栄養学部食品健康学科、 人間発達学部子ども教育学科 の定員充足率が0.7倍未満 となっていることから、学生 確保に努めるとともに、今後 の定員の在り方について検討 すること。	<p><b>【食品健康学科】</b> 健康栄養学部食品健康学科 では、平成22年度までの定員 充足率が0.7倍未満であること を踏まえ、学生を食品系専門 職業人として養成するため、 実学的教育・研究の充実を 図った。</p> <p>具体的な施策は、(1) 高大 連携の実施、(2) 産官学連携 による新食品の開発促進、 (3) 醸造・発酵系教育研究の 充実、(4) 酒造試験製造免許 取得や設備の充実、(5) 就職 支援科目（「キャリアフォーメーシ ョン」）の開設、(6) 資格取得 支援科目（「フードサービス」）の 開設、(7) 南九州大学卒業教 員との連携強化である。結果 として平成23年度入学定員充 足率は0.87倍、平均定員充足 率は0.72倍となり、好転の兆 しが見えた。</p> <p>平成23年度は上記に加え、 学科の教育内容をより明確に するため「食品開発科学科」 に名称変更（届出予定）し、 定員確保に努める。</p> <p><b>【子ども教育学科】</b> 人間発達学部子ども教育学 科では、昨年度に比べ受験生 は定員を上回っていたが、国 立との併願が多く、想定以上 の辞退者があった。今後はよ り一層の教育内容の発信につ とめ認知度を高め受験生の増 加を図りたい。</p>	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<環境園芸学部 環境園芸学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目 2 7 単位、選択科目 3 3 1 単位  ② 施設・設備  a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、教養科目 (2 科目 2 単位)、専門選択科目 (1 科目 1 単位) の単位数を増やした。(2-① 授業科目参照)  ② 届け出時の計画は記入の必要がなかったが、概要は以下の通りである。 a 講義室 1 2 室 (1,666㎡) b 自習室 2 室 (80㎡) c 図書 112,418 冊 (大学全体)

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD推進委員会 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 第1回 平成22年 5月13日 (木) (15人) 第2回 平成22年 6月17日 (木) (12人) 第3回 平成22年 7月 8日 (木) (13人) 第4回 平成22年 9月30日 (木) (12人) 第5回 平成22年11月18日 (木) (12人) 第6回 平成23年 1月20日 (木) (13人) 第7回 平成23年 2月24日 (木) (14人) 第8回 平成23年 3月29日 (火) (15人) c 委員会の審議事項等 第1回 平成22年 5月13日 (木) ・委員長の選出 第2回 平成22年 6月17日 (木) ・今年度前期のFD活動・FD推進委員会の組織体制 第3回 平成22年 7月 8日 (木) ・学生による授業評価アンケート (以下「授業評価アンケート」) の実施状況 ・ユニバーサル・パスポートによるアンケートのトライアル実施 ・集計作業について (集計期間と取り纏め作業) ・FD講演会の実施について ・現行規程の改定の必要性について ・後期の授業評価アンケートの実施体制について (責任教員の設定)
--

- ・教員相互による授業参観（以下「授業参観」）について
  - ・FD実働作業グループと将来計画グループの設定について
- 第4回 平成22年 9月30日（木）
- ・学科別アンケート結果の取り纏め（前期）について
  - ・後期のFD活動について
  - ・9月21日実施のFD講演会について
- 第5回 平成22年11月18日（木）
- ・後期の授業評価アンケートについて
  - ・授業参観について
  - ・授業改善報告書について（提出状況について）
  - ・前期の授業評価アンケート結果の学生への報告について
  - ・次年度FDに関する事業計画（予算案）について
  - ・各学科のFD取組み状況報告について
- 第6回 平成23年 1月20日（木）
- ・後期の授業評価アンケート実施報告
  - ・授業参観実施報告
  - ・授業評価アンケートの提出依頼
  - ・FD講演会について
  - ・SD推進委員会からの学生満足度アンケート調査についての報告
- 第7回 平成23年 2月24日（木）
- ・FD講演会の実施について
  - ・平成22年度FD推進委員会報告書の全体取り纏めについて
  - ・各学科からの授業評価アンケートの検討結果と学科別FD活動の取り纏めについて
- 第8回 平成23年 3月29日（火）
- ・平成22年度FD推進委員会報告書の取り纏めについて

## ② 実施状況

### a 実施内容

- (1) 授業評価アンケートの実施及び授業改善報告書の提出依頼
- (2) 授業参観の実施（学科単位で実施要領は決定）
- (3) FD講演会の実施（年間2回）
- (4) 次年度の事業計画の提案
- (5) FD推進委員会活動報告書の作成

### b 実施方法

- (1) 授業評価アンケートの実施及び授業改善報告書の提出依頼  
授業評価アンケートを実施し、教員に授業改善報告書の提出を依頼した。
- (2) 授業参観の実施（学科単位で実施要領は決定）  
1授業を複数の教員が参観し、相互評価を実施した。
- (3) FD講演会の実施（年間2回）  
FDに相応しい題目での「FD講演会」を2回実施した。  
教授会開催日にFDに相応しい内容で、その分野の専門家を招いて開催した。  
参加者は教員・職員を問わず多くの教職員が参加できるような時間を設定した。なお、開催内容についてのアンケートを実施した。
- (4) 次年度の事業計画の提案  
次年度のFDに関する事業計画（予算案）について提案された。
- (5) FD推進委員会活動報告書の作成  
各学科及び教養・教職センターにおいて、各項目についての報告書を作成した。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 授業評価アンケート（前期）の実施及び授業改善報告書の提出依頼  
7月5日～1週間程度 各学科の学生回答数及び実施教員数  
授業評価アンケート（後期）の実施及び授業改善報告書の提出依頼  
12月9日～12月15日 各学科の学生回答数及び実施教員数

(3) 授業参観の実施（学科単位で実施要領は決定）

環境園芸学科 平成22年12月9日～15日 実施教員5名, 参観教員4名  
管理栄養学科 平成22年12月13日及び12月17日 実施教員2名, 参観教員1名  
食品健康学科 平成22年12月13日及び12月15日 実施教員2名, 参観教員2名  
子ども教育学科 平成22年12月 実施教員2名, 参観教員0名

(4) FD講演会の実施（年間2回）

第1回目

日時：平成22年9月21日  
講演の題目「大学の組織文化とリーダーシップ」  
講師：広島大学 大場 淳 氏  
参加者：60名

\* アンケートを実施した。

第2回目

日時：平成23年2月22日  
講演の題目「発達障がいのある学生の理解と支援」  
講師：鹿児島大学 片岡 美華 氏  
社会福祉法人麦の芽福祉会 岩松 大海 氏  
参加者：58名

\* 第1回目同様、アンケートを実施した。

(5) 次年度の事業計画の提案

次年度のFDに関する事業計画（予算案）について、「FD講演会の実施」「FDセミナーの  
「実施」「及び「補習授業の実施」が提案された。

(6) FD推進委員会活動報告書の作成

各学科における「授業評価アンケート報告」「授業参観報告」「学科独自の活動報告」について  
それぞれ纏め、57頁に及ぶ報告書を作成した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート、授業参観、FD講演会他については全て教授会で結果を報告し、今後の授業の  
進め方の参考とした。また、FD推進委員会の活動報告書を作成し、学長に報告した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設時及び2年次前期に主として教養と専門基礎教育を行い、2年次後期から、学生を6専攻に配属して、専門ごとに実験・実習等を含む教育を行ってきた。各専攻には専攻責任者を置き、担当教員を配置して学生を指導した。その間、教育環境充実のため実験・実習室の教育機器、附属フィールドセンターの教育設備（園芸栽培施設、樹木等）の整備を実施した。

平成23年度は開設3年目となり、より専門的な教育を行うため、学生を研究室に配属する。研究室単位での緻密な指導により、本学の教育研究理念に基づく人材育成を実現する。

以上の状況を踏まえ、着実に設置の趣旨・目的を達成していると判断する。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・公表未定

##### b 公表方法

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成19年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、基準を満たしていると認定された。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表予定時期 ( 平成23年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.nankyudai.ac.jp/abouthuman.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。